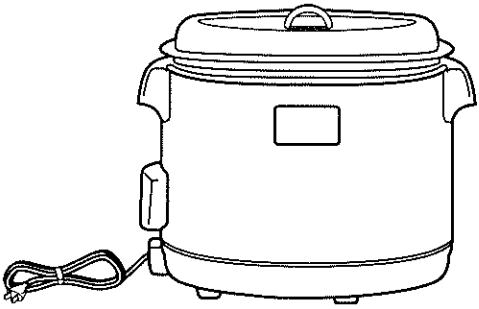
タイガー 業務用電子スープジャー JHI-A120



取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、必ずお役に立ちます。

もくじ

安全上のご注意……1～2
ご注意とお願い……3～4
各部のなまえとはたらき……5
仕様……5
ご使用の手順……6～7
温度調節の目安……8
おいしく保温するために……8
お手入れの方法……9
故障かな？と思ったら……10
保証とサービスについて……10
連絡先/愛情点検……裏表紙

点検、修理などを依頼されるときなどのために記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」、「ご注意とお願い」（3、4ページ）をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**：誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ **注意**：誤った取り扱いをしたとき、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※本体に貼付しているご注意に関するシールははがさないでください。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

	●改造はしないでください。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店、またはタイガーのもよりの支店、営業所にご相談ください。
	●お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。
	●電源コードや差し込みプラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	●電源コードを傷つけたり、破損したまま使用したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	●交流100V以外では、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●差し込みプラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふき取ってください。そうしない場合、火災の原因になります。
	●定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意

	●差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。
	●水のかかるところや、火気の近くではしようしないでください。火災・感電の原因になります。
	●専用の内容器以外は、使用しないでください。過熱、異常動作の原因になります。
	●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では、使用しないでください。火災の原因となります。
	●使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そうしない場合は、けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	●ふたや内容器に手をふれないでください。やけどをすることがあります。特に乳幼児には、さわらせないようご注意ください。

ご注意とお願い （ご使用前に必ずお読みください。）

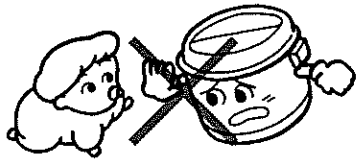
火災・感電・やけど・故障などを防ぐため、次のことは必ず守ってください。

使用場所・取り扱い

⚠警告

お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないで

●やけど・感電・けがをする恐れがあります。



⚠注意

水のかかるところや火気の近くでは使用しないで

●感電や漏電の原因になります。



不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないで

●火災の原因となります。



取り扱いはていねいに

●落としたり、強い衝撃を加えたりすると、故障の原因になります。

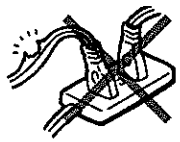


使用前

⚠警告

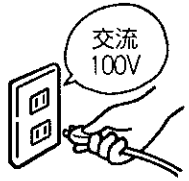
電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないで

●感電・ショート・発火の原因になります。



交流100V以外では使用しないで

●火災・感電の原因になります。



使用前

タコ足配線はしないで

●火災の恐れがあります。



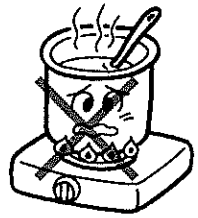
異物は取り除いて

●故障の原因になります。



内容器で調理しないで

●故障の原因になります。

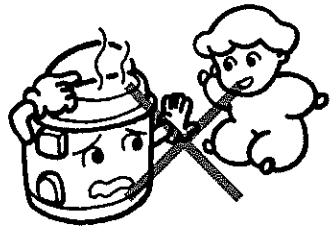


使用中

⚠注意

ふたや内容器に手を触れないで

●やけどをすることがあります。
特に乳幼児には、さわらせないようご注意ください。



使用後

⚠警告

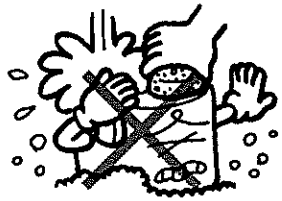
水につけたり、水をかけたりしないで

●ショート・感電の恐れがあります。

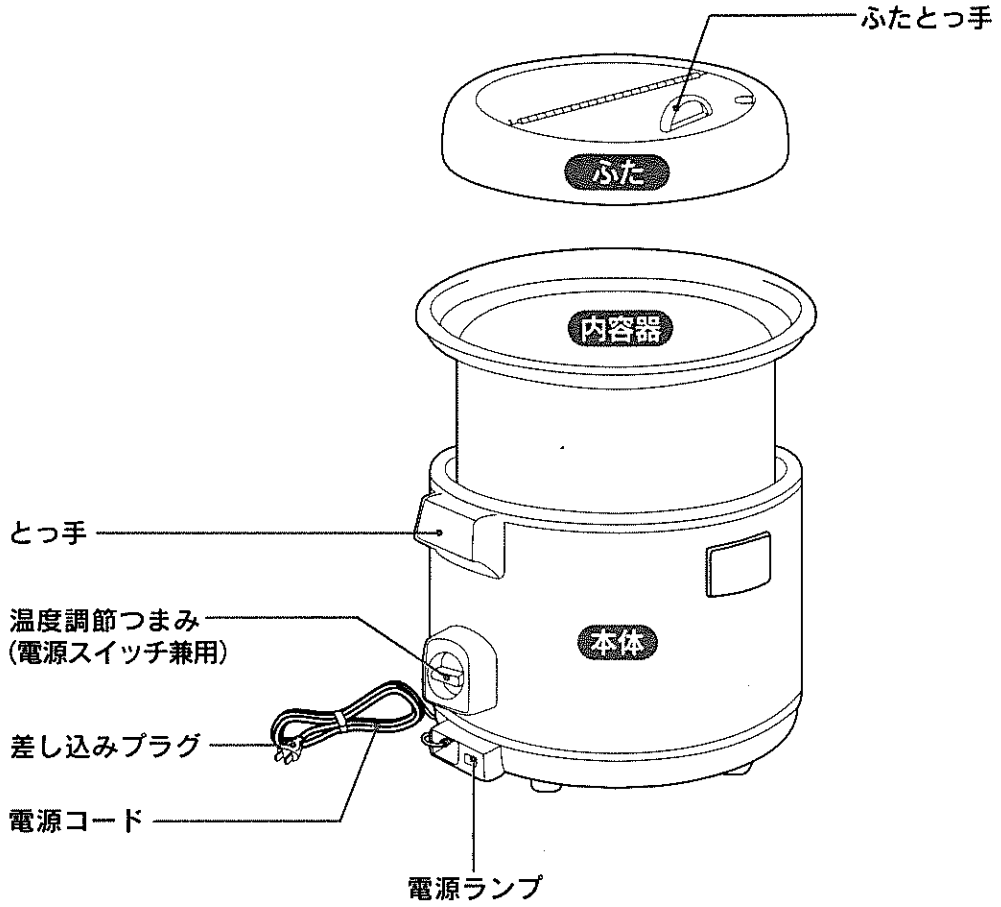


丸洗いはしないで

●本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。
(9ページ参照)



各部のなまえとはたらき

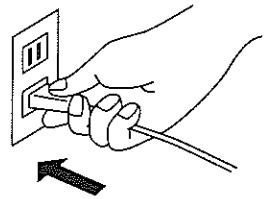


仕様

サイズ	実容量 L	電　源	消費電力 (最大)W	外形寸法（約）cm			本体質量 (約) kg	コードの長さ (約) m
				幅	奥行	高さ		
12Lタイプ	12	交流100V 50-60Hz	240	41.8	36.8	34.1	5.6	1.5

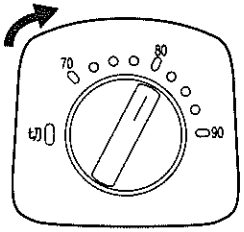
ご使用の手順

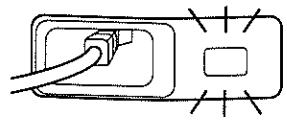
1 差し込みプラグをコンセントに差し込む



2 温度調節つまみを好みの温度に合わせる

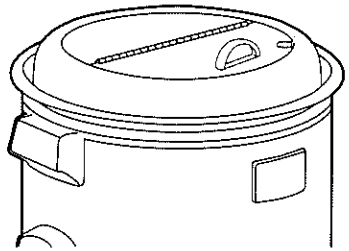
●電源ランプが点灯します。
(8ページ参照)





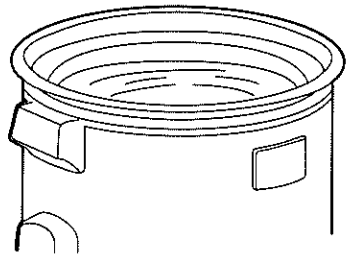
3 約30分間予熱をする

●必要以上の予熱はしないでください。



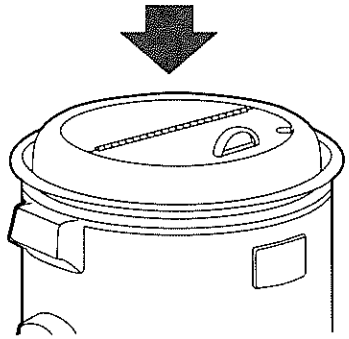
4 内容器にスープを入れる

●スープは12L以上入れないでください。



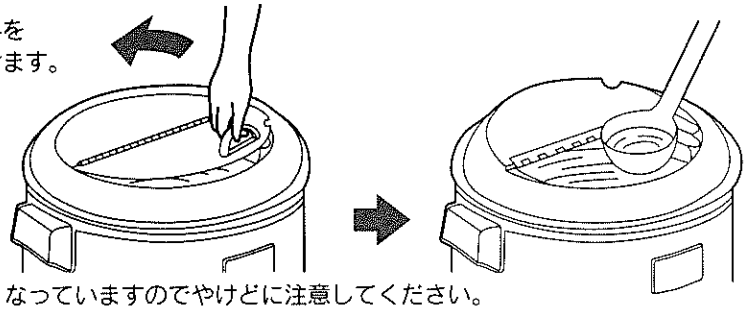
ご使用の手順

5 ふたをする ↓ 保温開始



6 よそうときは

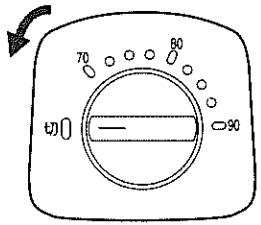
●ふたとっ手を持って開けます。



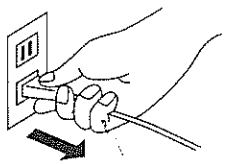
※ふたが熱くなっていますのでやけどに注意してください。
※ふたの開閉は、勢いよくしないでください。

7 使用後は

①電源スイッチを「切」にします。



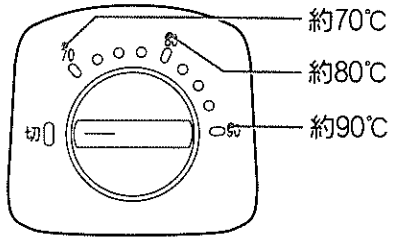
②差し込みプラグを抜きます。



⚠注意

❗必ず差し込みプラグを持って抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。

温度調節の目安



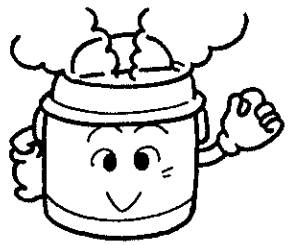
※目盛の温度表示は目安とお考えください。

目　盛	メニュー
90～85	みそ汁・コンソメスープ・うどんだし
85～80	カレー・シチュー・ぜんざい
80～75	クリームスープ
75～70	温泉卵

おいしく保温するために

スープは調理後すぐに保温しましょう

●熱いスープを多めに保温するのがおいしく保つ秘訣です。



ふたの開閉はすばやく

●ふたはそのつど閉めてください。開けたままや、閉め方が不充分ですと、スープがさめやすくなります。開けている時間はできるだけ短時間にしてください。

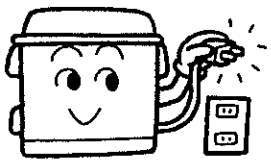


つぎのような保温はやめましょう

●さめたスープの保温やあたためなおし
●長時間の保温（調理物の種類によっては変質、変色する場合があります。）
●少量（3L以下）の保温
●ごはんの保温

お手入れの方法

差し込みプラグを抜き、
本体が冷えてから



台所用合成洗剤以外は使わないで



シンナー
クレンザー
化学ぞうきん
ナイロンたわし

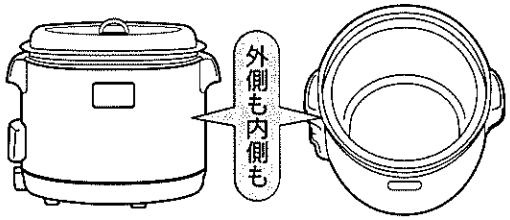
●内容器・ふたなどは、いつも清潔にしてください。不充分ですと、腐食やにおいの原因となります。

本体

固くしぼった布で、汚れをふき取ります。
●本体内部へは、絶対に水が入らないようにしてください。

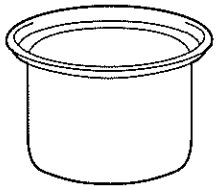
⚠警告

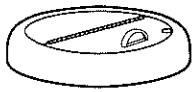
水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。



内容器・ふた

柔らかいスポンジで洗った後、水分をふき取ります。
●内容器に食器類などを入れて、一緒に洗わないでください。





サビのような赤いはん点がついたら

●水の中の鉄分が酸化したもの(もらいサビ)です。
ナイロンたわしでこすり落としてください。

故障かな？と思ったら

●下記の点検をしてもなお不具合の場合
●本体に水や異物が入ってしまった場合

⬇

お買い上げの販売店にご相談ください。
ご自分での分解や修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠警告

改造しないでください。修理技術者以外の人は修理をしないでください。修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

このような場合	原　因
スープがさめる	●スープの量が少なすぎた ●ふたをしなかった ●設定温度が低すぎた
スープが煮つまる	●長時間の保温をした ●設定温度が高すぎた